

総合病院 土浦協同病院

第35号 平成23年8月10日



# fureai ふれあい

URL <http://www.tkgh.jp>

E-mail [general@tkgh.jp](mailto:general@tkgh.jp)

発行所 総合病院 土浦協同病院 発行人 家坂 義人  
〒300-0053 茨城県土浦市真鍋新町11-7 TEL029-823-3111



群馬県沼田市玉原高原「ラベンダー」 撮影者：香取 逸美

## てんかん外来を開始しました

第1・3金曜日  
13:00~16:00

脳神経外科部長 山本信二 / てんかん学会専門医、指導医 前原健寿

- てんかんは、さまざまな原因で起こり、全人口の1-2%の人が患っている、よくある病気です。
- 8割の人は抗てんかん薬で発作が減少～消失します。しかし約2割の人では抗てんかん薬を服用しても発作が残存し、難治てんかんと呼ばれています。
- 発作が抑制されても薬の副作用に困っている人も多く存在します。
- 自動車の運転、若い女性では妊娠、出産など、日常生活の問題に対する正しい知識を持つことが重要です。

### <日本におけるてんかん治療はこの数年間で、大きく変わりました!>

- 1) 新しい抗てんかん薬が認可、使用可能になり、てんかんやてんかんに伴う症状をより改善できるようになりました。
- 2) 画像診断や手術手技が進歩したことで、てんかんを治す手術（側頭葉切除、焦点切除など）がより正確で安全に行えるようになりました。
- 3) 迷走神経刺激療法という神経を刺激して発作を抑制する方法が認可され、眠気などの副作用のない治療が可能になりました。

けいれん、てんかんでお困りの方、  
セカンドオピニオンなど、  
気楽に受診してください。



<迷走神経刺激装置：  
心臓のペースメーカーに似ていますね>



# 土浦キララまつり

## 心を合わせて 声出し 跳んだ! つかみとった準優勝!



今年も土浦市主催のキララまつりに、土浦協同病院 第8期 元気隊連が参加してきました。3.11東日本大震災後の開催となり、実行委員会では、被災された方への配慮から自粛するか、例年どおり参加するかの議論からのスタートとなりました。その会議の中、例年どおり参加すること、平常を取戻すことが復興に繋がるとの意見から“がんばろう茨城! 立ち上がれ土浦! 盛り上げよう、みんなで!!”をスローガンに実行委員満場一致で始動開始しました。

限られた練習時間の中で、参加者全員が集合して練習できたのはほんの一時でした。しかし、ひとりひとりが土浦の地域の人たちの元気な笑顔と、活気ある土浦に思いを込めて踊り、準優勝という輝かしい結果を残すことができました。審査員の方からも「いつもに増して元気があふれていた」と講評を頂くことができました。

来年も元気隊のパワーが皆様に届くよう精一杯踊ります! (放射線部 櫻井 雅博)



# 跳べ!

# 元気隊



## 看護学生のためのサマーインターンシップ開催中!!!

看護副部長 大野 美津江

看護学生の「見たい、聞きたい、体験したい」にお応えし、就職活動のお手伝いすることを目的にサマーインターンシップを開催しています。夏休み期間であっても授業や実習が予定されている学校が多いため、看護学生がスケジュールに合わせて参加ができるようにと1日コース、2日間コース、3日間コース、5日間コースの4コースを準備しました。早速、県内や県外の看護学生さんからご応募いただき、それぞれのコースを開催しているところです。

インターンシップの内容は、希望される病棟での看護体験を中心とし、病院概要、卒後教育システム、安全管理、感染管理等の土浦協同病院を理解していただくための講義、さらに、お昼には先輩看護師と語りながらの楽しい昼食の時間を設けています。インターンシップ終了時には「先輩と話ができ充実した看護体験でした」、「どのような病院なのか自分で確認でき安心しました」などの感想が聞かれました。今後も一人でも多くの看護職員の採用に繋がるよう続けていきます。



# 最新型心臓超音波診断装置導入

臨床検査部 技師部長 宮本 和典

今回導入したのは2機種で、「IE33」・「VividE9」という装置です。これらの装置は超音波検査のうち心臓領域に特化した機種であり、さらに最新の装置構成となっています。

一般的に超音波検査は人体に無害で痛みを伴いません。探触子と呼ばれるものを胸に押し当てるだけで、実際に心臓が動いている様子や血液の流れ等を観察できます。

これらは従来の装置でも可能ですが、この最新型装置ではさらに瞬時に3D画像表示が可能で、心臓全体から弁の細かい部分まで立体的かつ動いている様子を観察でき、また得られた画像から見た目では分からない心臓の筋肉の細かな動きを詳細に解析することが可能です。

例えば、心筋梗塞などで心臓の筋肉が障害された場合、その範囲や程度を客観的かつ迅速に評価でき(図1)、また3D画像によって心臓弁膜症での弁機能の障害の程度・範囲(図2)や生まれつき心臓の壁の一部に穴があいている病気(図3)など、今までは平面で観察していたものが立体的な動画像でより詳細に観察可能になりました。



心臓超音波診断装置 「IE33」(写真右)、  
「VividE9」(写真左)

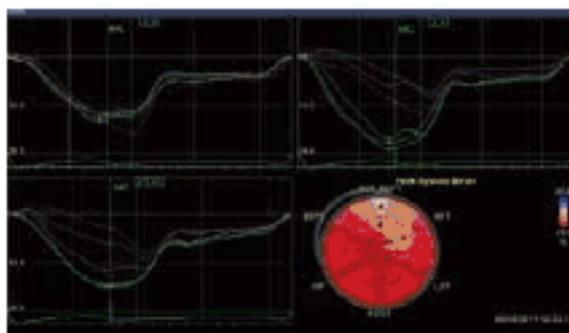


図1

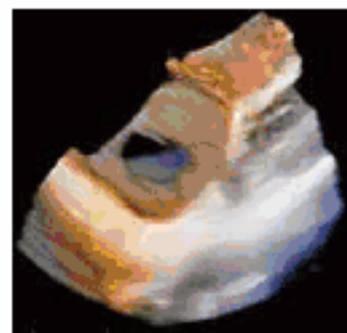


図3

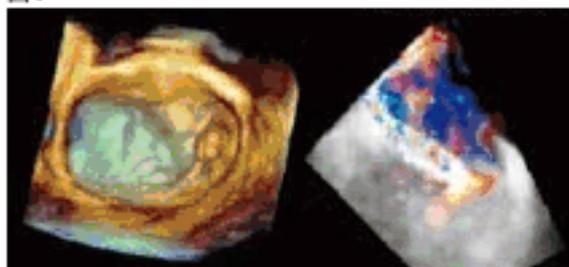


図2



食物の  
ちから  
栄養部だより

栄養部 中島みどり

## ゴーヤ

沖縄の代表的食べ物として知られるゴーヤは、鮮やかな緑色で苦味があるため、別名「にがうり」ともいわれています。最近ではどこでも手軽に栽培され、家庭料理の1品として食卓にだされます。ゴーヤはウリ科の野菜で、ビタミンCが多く、苦味成分の「モモルデシン」は食欲増進の効果もあります。ゴーヤチャンプルーのように油で炒めたり、茹でてサラダや和え物に、天ぷらにしても美味しく食べることができます。病院給食では、苦味があるためメニューには不向きと考えていましたが、調理方法により苦味が弱まり美味しく食べることができるため、8月のメニューにとりいれました。

